

熱中症予防広報の新たな取組

～「かもめタウン」を活用した市民への呼び掛け～

神奈川県 横浜市消防局

1 はじめに

近年、地球温暖化やヒートアイランド現象によって、日常生活の中で熱中症となる危険性が高まり、救急車が出場する事態が発生しています。熱中症は、重症化すると生命に危険が及ぶこともあり、様々なメディアで取り上げられ、注意喚起されているのを目にするようになりました。適切な予防方法を知っていれば、熱中症は防ぐことができることから、全国の各自治体においても、熱中症予防の広報を行っていることと思いますが、毎年多くの方が熱中症により救急搬送されているというのが現状となっています。

横浜市消防局では、これまで当局ホームページに熱中症関連情報を掲載することによる注意喚起、イベントや防災訓練・防災指導等の開催時における情報提供及びリーフレット配布、消防車両の積載マイクを活用した広報活動、各区の会議や老人クラブ等への情報提供など、あらゆる機会を捉えて市民の方々に熱中症予防の広報を行ってきましたが、今年度は、これらの取組に加えて公民連携による新たな取組を行いましたので、御紹介します。

2 「かもめタウン」による熱中症予防広報

当局では、平成26年11月より政策局のテーマ型共創フロント(※)において、「消防局のPR・ブランディングと市民の防災意識の啓発」をテーマに、公民連携の提案及び連携事業者を募集してきたところ、今回、日本郵

便株式会社より、「かもめタウン」を活用した熱中症予防広報の提案をいただきました。

この取組は、日本郵便株式会社が発行する「かもめ〜る(暑中・残暑見舞はがき)」をあて名なしで希望エリアに配達する「かもめタウン」というサービスを活用し、はがきの表面に熱中症の注意喚起と本取組に賛同していただいた企業の広告を、裏面に当局が作成した熱中症予防の具体的な注意事項等を掲載し、日本郵便株式会社が市民の方々へ配達するものです。印刷費用及びはがき代金は協賛企業に負担していただき、配達先は協賛企業がそれぞれ指定したエリアとなります。

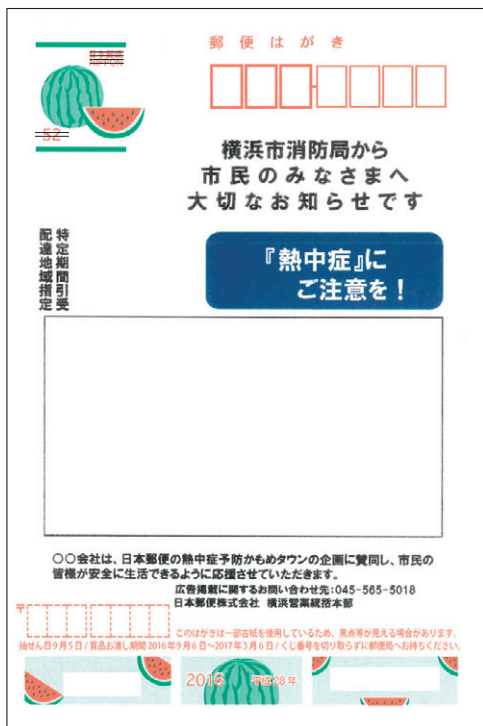
協賛企業の募集に当たり、企業からは、社会貢献できるという好意的な評価をいただき、7月19日時点で予想を大きく上回る145社から賛同が得られ、合計138,644枚のはがきを市民の方々のお手元に届けていただきました。

※『テーマ型共創フロント』

横浜市は、行政と民間が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むために、民間企業、団体の皆さんからの御相談や御提案を受け付ける窓口(共創フロント)を設置しています。テーマ型共創フロントとは、市からテーマを提示し、公民連携の提案やアイデア等を公募する仕組みです。

(市Webページ：<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/front/>)

【はがきイメージ】



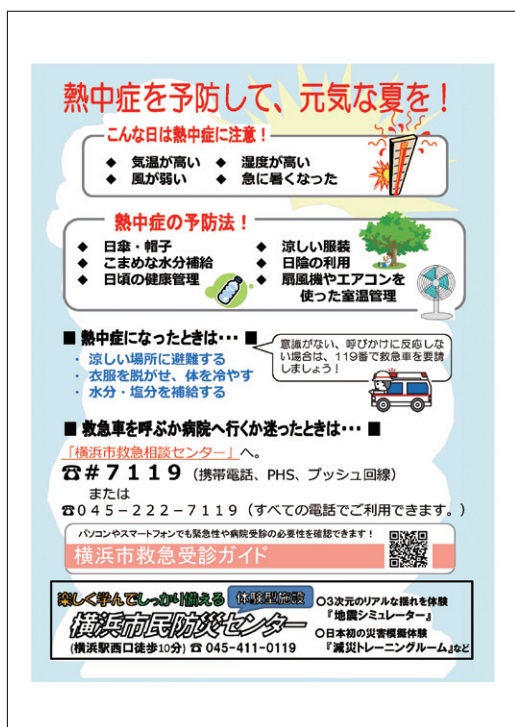
表

3 「かもめタウン」の効果

新聞、テレビのほか、インターネットの普及により、スマートフォンやパソコンで情報を入手することが多くなった今日、当局では、ホームページやSNSなどでの救急広報に力を入れているほか、伝えたい世代に応じて広報媒体の工夫に努めています。こうした中、紙媒体である「はがき」、特に日本の文化として定着している暑中見舞いを活用した広報という提案をいただいたときは、受け取った市民の方々の微笑ましい表情を想像するなど、とても新鮮に感じました。また、くじ付きはがきのため、夏季の期間中は手元に置いていただけるというメリットもあります。

今回配達された「かもめタウン」は、季節の挨拶を兼ねたお知らせとして、どの世代の市民にも違和感なく受け入れられ、熱中症予防について意識していただけたのではないかと期待しています。

本取組に賛同いただいた企業には、当局から感謝状を贈らせていただく予定です。そして、今回の取組をきっかけとして、今後も様々な関係機関・企業と協働し、創意工夫した新たな広報活動を展開していきたいと考えています。



裏